

令和5年度 第2回 区民との意見交換会
質問・意見及び当組合の考えについて

- 1 募集期間 令和5年11月20日(月)から11月30日(木)まで
2 質問・意見の件数 2件
3 区民の皆様からの質問・意見内容及び当組合の考え

「江戸川清掃工場の建替事業について」に関する質問・意見			
No.	区民の皆様からの質問・意見	当組合の考え	回答所管
1	<p>浸水対策について</p> <p>「工場敷地を1.6メートルかさ上げ及び防水扉等によりA.P.+5.5mまで浸水対策」ということであるが、敷地のかさ上げということは、工場敷地全体を盛土するということか？すでに工場棟の解体は終了し、地下部分の工事をしているが、今現在の状態で盛土は終わっているのか、これから盛土するのか知りたい。また、盛土の土はどこから持ってくるのか？また、防水扉というのはどこに設置するのか？江戸川、旧江戸川、新中川に囲まれた江戸川清掃工場、東京湾の高潮浸水想定地域でもある。台風などによる河川の氾濫、東京湾高潮など大災害の脅威があるなか、敷地を1.6メートルかさ上げしたとしても、その分だけ地下部分が深くなる。プラントの主要部分は地下にもあるわけで、防水扉程度で浸水対策になるのか疑問だ。雨水排水対策等もしっかり行うのではあるだろうが、対策は万全だと奢ることなく謙虚に自然の脅威に備えてほしい。環境影響評価書案説明会資料に、地盤への影響(工事の施工中)で「山留め壁の設置」というのがあったが、これは工事終了後に抜き取るものなのか？</p>	<p>現在の工場敷地の高さは概ねA.P.+2.5mであり、周辺道路等とのすり合わせを考慮し、緩衝緑地部分を除いた工場敷地全体に1.6mの高さの盛土を行います。さらに、工場1階部分の開口部に防水扉や止水板を設けることで江戸川区水害ハザードマップで想定されるC+5.5mまでの浸水対策を行います。仮に防水扉から工場棟内に水が入ってきた場合には、水槽内に一時貯留できる仕組みとしています。</p> <p>盛土は、今後の工事進捗により変更となる場合もありますが、令和6年度から令和7年度に行う予定です。なお、使用する土に関しては、山砂のほか、良質な建設発生土を活用することも検討しています。</p> <p>なお、新築工事に使用した山留め壁は、周辺地盤への影響を考慮し存置する計画としています。</p> <p>※A.P.とは、Arakawa Peil(荒川工事基準面)の頭文字をとっています。中央区新川に壺岸島水位観測所というA.P.の基準地があり、この観測所の最干潮面をA.P.±0(ゼロ)mとしています。(東京都港湾局ホームページより)</p>	建設課
2	<p>全覆い仮設テントについて</p> <p>工場棟の解体終了後も全覆い仮設テントのなかでの地下部分の工事中であったが、基礎杭打ち工事などもテントの中でやったのだろうか？</p> <p>23区の清掃工場で全覆い仮設テントの使用は江戸川で5例目ということだが、鉄骨部分は再利用の可能性もあるが、防災シートであるテント部分はその都度廃棄しているのだろうか？たとえレンタルの形式であれ、膨大な量の防災シートのゆくえを清掃一組としてもチェックしてほしい。環境アセスの「廃棄物」の項目で工事の施工中の廃棄物も「発生抑制・再資源化」をうたっている。</p> <p>また、近年の清掃工場建替工事、焼却炉の規模が600トン/日で600億円の契約金額が高値安定となっている。建築資材高騰などさまざまな要素があるのだろうが、全覆い仮設テント仕様も高値の要因になっているのだろうか？しかし、北清掃工場は全覆い仮設テントは使わずとも600億円を超してしまった。</p> <p>全覆い仮設テントは経費面だけでなく工期も長くなるデメリットもあるようだが、23区の清掃工場は住宅密集地に立っている故に、建替工事中の安全対策として地域住民には安心材料にもなる。この先の清掃工場建替時には、まずは地域住民の要望なども重視しながら全覆い仮設テントの使用か否かの判断をしてほしい。</p>	<p>基礎工事や杭工事でも全覆い仮設テント内で作業を行っています。全覆い仮設テントの防災シートは、江戸川清掃工場の大きさに合わせて加工しているため、他の建替工事で使用することは難しいと考えておりますが、施工業者に再利用の検討を促してまいります。なお、北清掃工場建替工事においては、一部解体を行った上で全覆い仮設テントを設置する計画となっており、現在は飛灰搬出棟に全覆い仮設テントを設置し、解体を進めています。</p> <p>全覆い仮設テントは、施工業者の提案に基づいて採用しています。粉じんの飛散低減の面で一定の効果がありますが、建替工事費が高騰し続けているため、清掃工場の立地条件や建設工事費の動向、環境負荷低減の観点など、様々な要因を考慮し、解体方法を適切に判断してまいります。</p>	建設課